

資料 3

ISUT活用モデルの検討状況

趣旨

○以下の観点からISUTの効果的な活用のあり方を検討

- ・どのような災害対応に対し、どのような地図を提供することが効果的か
- ・多様な情報の収集・整理・提供を、どのような手段や手順で行うことが迅速かつ効率的か

概要

以下の手順により検討・実施※

※連携地方公共団体：海南市・熊本市／青森県・三重県・愛媛県

手順

- ①地方公共団体が災害対応を行う上で必要となる地図情報をリストアップ
- ②①でリストアップした地図情報について
 - ・地図の活用例
 - ・地図作成のための標準的な手順等を整理したISUT活用モデルを作成（訓練等で検証）
- ③ISUT活用モデルについて、地方公共団体に周知

効果

- ISUT活用モデルに沿って作成した地図情報の活用により、地方公共団体の迅速かつ効果的な災害対応に寄与
- ISUTによる地図情報作成の迅速化・効率化

○地方公共団体が災害対応を行う上で必要となる地図情報をリストアップするため、連携地方公共団体から意見聴取

ISUTが提供可能な地図情報リスト

【被害情報関係】

- ・震度分布（推計）
- ・地震倒壊家屋数（推計）
- ・死者・行方不明者数（市町村別）

【ライフラインの被災状況関係】

- ・停電戸数（市町村別）
- ・ガス供給停止エリア（※1社のみ）
- ・携帯電話通信障害エリア
- ・断水戸数（市町村別）

【道路通行ルート関係】

- ・道路交通規制情報

【避難所関係】

- ・避難所（位置・避難者数）

【医療福祉施設関係】

- ・災害拠点病院・有床病院（名称・位置・支援要否）

【被災者支援関係】

- ・物資拠点（名称・位置）
- ・給水拠点（名称・位置）

【災害廃棄物関係】

- ・指定仮置場（名称、位置、受入状況）

地方公共団体の地図情報ニーズ

県（青森県・三重県・愛媛県）

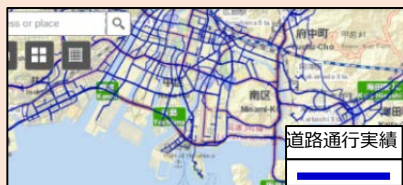
市（海南市・熊本市）

【県・市に共通のニーズ】

○初動期における被災地域の概況（衛星画像、航空写真、SNSに投稿された画像等）



○車両通行実績



【県のニーズ】

- 市町村別の停電率
- 携帯電話通信障害エリア（3社の重ね合わせ）
- 実働機関が把握した被災状況（台風第15号の際の倒木箇所のようなもの）
- 浸水家屋数の推定に活用できる情報（例えば、推定浸水範囲と建物位置情報）
- ボランティアの配置状況（市町村別の活動人数）

【市のニーズ】

- 地区単位のライフライン情報（停電戸数等）
- 地区単位の被害家屋数
- 避難所以外の避難者の把握に活用できる情報（例えば、災害時の人の集積情報）
- 宿泊施設の稼働状況

＜令和2年度前半＞

ISUT活用モデル（案）の作成

- ・ 都道府県や市町村のニーズを勘案し、災害対応に必要なとなる地図情報リストを作成
- ・ 地図情報ごとに、災害対応職員による活用シーンを整理
- ・ 地図作成に必要な個々の原データとその保有者を明らかにした上で、原データの収集から地図作成までの手順を整理

＜令和2年度後半＞

訓練

地方公共団体が行う防災訓練等において、ISUT活用モデル（案）に基づいた情報の作成・提供を行い、地図作成手順や提供タイミングを検証し、モデルに反映

周知

ISUT活用モデルを地方公共団体等に周知